

**平成29年度 飯南町総合振興計画等評価委員会
PDCA進捗管理シート**

【評価事業】

○総務課	情報通信基盤整備事業・・・・・・・・・・	1	
○住民課	子ども・子育て支援対策事業・・・・・・・・	2	
	出会い創出事業・・・・・・・・・・・・・・	3	
	公共交通機関利用促進事業・・・・・・・・	4	
	住宅店舗リフォーム等助成事業・・・・	5	
○建設課	地域振興臨時管理費・・・・・・・・・・・・	6	
○頓原基幹支所	小さな拠点づくり推進事業・・・・・・・・	7	
○地域振興課	買い物支援対策事業・・・・・・・・・・・・	8	
	飯南高校教育支援事業・・・・・・・・・・・・	9	
	ふるさと応援寄附促進事業・・・・・・・・	10	
	三十路式事業・・・・・・・・・・・・・・	11	
	定住促進対策事業・・・・・・・・・・・・	12	
	○教育委員会	教育振興共通臨時管理費・・・・・・・・	13
	○保健福祉課・福祉事務所	保健衛生総務経常管理費・・・・・・・・	14
医療従事者確保対策事業・・・・・・・・		15	
地域包括支援センター運営事業・・		16	
障がい者地域生活支援事業・・・・・・・・		17	
○産業振興課		園芸振興対策事業・・・・・・・・・・・・	18
	リースハウス団地整備事業・・・・・・・・	19	
	森林セラピー推進事業・・・・・・・・・・・・	20	
	飯南町情報発信事業・・・・・・・・・・・・	21	
	観光協会運営事業・・・・・・・・・・・・	22	
	創業支援事業・・・・・・・・・・・・・・	23	
	ヘルスケアビジネス推進事業・・・・	24	

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 5-2 生活基盤の整備							
	総合戦略	4-3 不便を感じない生活基盤の整備				事業費	2,959千円	
事業名	情報通信基盤整備事業(加速化事業)							
事業概要 (計画P)	情報通信基盤整備事業による飯南町光通信インフラ整備を行うための詳細設計							
実施内容 (実施D)	現況の同軸ケーブルのルート調査を行うとともにFTTHの基本設計を行い整備計画及び概算事業費について検討する。							
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:CATV超高速通信網の整備							
	KPI:5年後に通信速度を1G							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	3~30M	3~30M	3~30M			1G	
	達成率	—	0%	0%				
	②目標事項:高速情報通信網の整備率							
	KPI:高速情報通信網の整備							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	—	—	—			100%	
	達成率	—						
平成 28 年度	評価 (C)	【28年度評価】						
		担当課 評価	通信速度の改善については上位回線拡大が必須であることから事務組合と協議し、回線拡大の方針を出した。また、FTTHについては財源確保のため、総務省との協議を行った。					
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】						
上位回線拡大の状況を見ながらFTTHについては国庫補助の確保を目指して調整を続ける。								
委員会 意見	【評価等に対する意見】							
	委員会 評価							

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 2-1 子育てしやすい環境づくり							
	総合戦略 1-3 女性の出産・子育ての希望をかなえる							
事業名	子ども・子育て支援対策事業					事業費	5,004千円	
事業概要 (計画P)	<p>児童クラブ、子育て支援センター、ファミリーサポートセンターの運営や、公民館等が実施する子ども活動を支援することにより、子育てしやすい環境づくりに取り組む。</p> <p>保育士確保対策交付金(町内保育所新規採用者への助成)などを活用し、人材の確保及び育成に努める。</p> <p>出産祝い金の創設など、子育て世代の生活を支援する。</p>							
実施内容 (実施D)	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育充実事業(検討会議の開催) ・ほっと。Cafe事業(保育士・保健師による相談及び指導) ・ファミリーサポートセンター事業(施設整備) ・夏休み居場所づくり事業(赤名小学校で児童クラブ開設) ・第3子以降出産祝金、第3子以降子育て世帯給付金の支給 ・子育て協力企業認定、支援制度の開始 							
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:子どもがいる世帯数							
	KPI:31年度末に370世帯							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	354	327	323			370	
	達成率		88.4%	87.3%				
	②目標事項:子どもが3人以上いる世帯数							
	KPI:31年度末に110世帯							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	92	76	80			110	
	達成率	—	69%	73%				
平成28年度	評価 (C)	【28年度評価】						
		担当課 評価	<p>18歳未満の子どもがいる世帯については、ほぼ横ばい状態であるが、3人以上子どもがいる世帯については、伸びてきている。</p> <p>第3子以降の子育てに対する出産祝金や子育て給付金などを含め、保育料の第3子以降無償化など、着実に成果として出始めていると思われる。</p>					
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】						
		<p>子育て世代への支援策について周知徹底を図ると共に、更に子育て世帯の負担軽減をニーズに沿う形で解消するように随時ニーズを把握する。</p> <p>また、喫緊の課題である乳児保育の受入月齢の引下げについて、平成30年度開始に向けての準備を平成29年度中に整える。</p>						
委員会意見	【評価等に対する意見】							
	委員会 評価							

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 2-1 子育てしやすい環境づくり		
	総合戦略 1-2 結婚の希望をかなえる		
事業名	出会い創出事業	事業費 5,404千円	
事業概要 (計画P)	少子化対策の一環として地元独身男女に出会いと交流の場を提供し、結婚に対する関心を深め、地域全体で支援する気運を醸成し、地元での結婚及び定住促進を図る。		
実施内容 (実施D)	<ul style="list-style-type: none"> ・仲人の育成及びお見合いの開催 ・出会いの場の提供(イベント開催、マリエやしろ会員登録助成) ・結婚祝い事業(祝い金の支給) 		
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:婚活イベント参加者数		
	KPI:毎年度40名以上		
		基準値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度(目標値) 備考	
	数値	30 43 52 40	目標達成
	達成率	107.5% 130.0%	
	②目標事項:婚姻数		
	KPI:毎年度 20組以上		
		基準値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度(目標値) 備考	
	数値	14 13 17 20	
	達成率	— 65% 85%	
	②目標事項:交流イベント参加者数		
	KPI:交流イベントの参加者数 50人		
		基準値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度(目標値) 備考	
	数値	18 43 66 50	目標達成
	達成率	— 86% 132%	
平成28年度	評価 (C)	【28年度評価】	
		担当課評価 B ご縁の会の会員に対して毎月1回定例会を開催。独身者の情報提供、仲人研修会を実施した。28年度に成婚者が1組あり、引き続き婚活支援にご協力をいただく。マリエやしろの会員について、28年度は8人の登録があり、マリエやしろ主催のイベント等へ参加を促した。	
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】	
		ご縁の会、婚活イベント、独身男性セミナーを継続して開催していく。また交流イベントについては事業者交流会、若者交流会を継続して行い、将来に渡って活かせるネットワークづくり、新たな出会いの場として参加者を募っていく。今後、町内の独身者が参加しやすいイベントやセミナーを計画するために、県・他市町村の成功例や独身者からの意見も取り入れて進めていく。	
	委員会意見	【評価等に対する意見】	
		委員会評価	

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 5-2 生活基盤の整備							
	総合戦略 4-3 不便を感じない生活基盤の整備							
事業名	公共交通機関利用促進事業(加速化事業)					事業費	12,127千円	
事業概要 (計画P)	生活支援とし重要な移動サービス体制の確立を図る。デマンド型タクシーなど運行計画の策定と実証運行を行う。音声案内システム構築など利便性の向上を図る。							
実施内容 (実施D)	28年3月に策定した地域公共交通計画に基づく交通再編の実証を行い、複雑な現在の交通体系の見直しや交通空白地の解消を図り、交通弱者に対してより良い交通異動を実現する。 ・現バス路線の幹線・支線の交通再編 幹線: デマンド運行及び要望に伴うバス路線の再編・ダイヤ見直し 支線: 頓原・来島地区の本格運行、志々・赤名・谷地区の交通再編(デマンド・自治会輸送など)							
目標指標 ・進捗状況	①目標事項: 町営バス利用者数							
	KPI: 毎年度46,000人の利用							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	46,327	42,752	36,966			46,000	
	達成率		92.9%	80.4%				
平成28年度	評価 (C)	【28年度評価】						
		担当課 評価	地域公共交通計画に基づき、10月に頓原・来島地区にてデマンド乗合タクシー実証運行に伴う路線バスの幹線・支線の見直しを行った。 当初、デマンド運行に伴う路線・便数減を計画していたが、地域住民と検討し、現状維持をした路線、デマンドとの接続上で利便性向上を図るため増便した路線があった。 想定する経費削減効果は得られなかったため、地域住民の移動手段を確保しつつ経費削減策について再検討する課題が残った。今後は、赤名・志々地区の検討に入るが、利便性向上と経費バランスを考慮しつつ検討を進めていきたい。 ★10月 頓原・来島地区において、デマンド乗合型タクシー実証運行開始(都加賀地区・真木地区は、住民協議によりデマンド運行外) ★上記デマンド運行に伴う、利便性を重視したバス路線の改定を行っている。					
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】 引き続き、幹線・支線の交通再編を行い、頓原・来島地区のデマンド本格運行の実証と、赤名・志々・谷地区の交通再編(デマンド、自治会輸送などの実証運行開始)を進めていく。利便性向上による利用者拡大と継続的な運行を実現させるため、地域と検討しながら改善を図っていく。 ・頓原、来島地区デマンド型乗合タクシー本格運行 ・赤名、志々地区デマンド型乗合タクシー実証運行及び車両購入 ・デマンド型乗合タクシー運行に伴う、路線バスダイヤ改正 ・デマンド型乗合タクシー運行の利便向上(毎日(平日)運行の実施、公民館等との連携でお試し乗車など)						
委員会意見	【評価等に対する意見】							
	委員会 評価							

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 5-2 生活基盤の整備							
	総合戦略 1-3 女性の出産・子育ての希望をかなえる							
事業名	住宅店舗リフォーム等助成事業					事業費	1,258千円	
事業概要 (計画P)	公共用水域の水質汚泥を防止することを目的とした生活排水処理施設整備(合併浄化槽)と、公共下水道への接続の促進を図る。							
実施内容 (実施D)	住宅店舗のリフォームに合わせて下水道・浄化槽に新規に接続される場合に工事費の1/10(上限10万円)を助成。 さらにUターンの促進のため、三世代での住居を計画される方には増築費用等にかかる経費の2/10(上限20万円)を助成する。							
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:上水道接続率(普及率)							
	KPI:31年度末に85%							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	83.2	83.2	86.7			85	目標達成
	達成率		97.9%	102.0%				
	②目標事項:下水道接続率(普及率)							
	KPI:31年度末に95%							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	89.6	89.6	89.9			95	
	達成率	—	94%	95%				
平成28年度	評価 (C)	【28年度評価】						
		担当課 評価	三世代住宅リフォーム助成金について、自治区長会の回覧文書等で周知を促した。その結果、H27年度を上回る10件の申請があった。既存住宅リフォーム助成金のみは8件、三世代住宅リフォーム助成金のみは1件、どちらにも該当する申請は1件となっている。その結果、上下水道ともに普及率が増っており、上水道については目標率を達成した。					
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】						
		今年度、「エコリフォームに係る改修工事」を住宅リフォーム助成金制度要件に追加し最大50万円の助成が可能。エコリフォーム助成金を受けるには「(公財)しまね自然と環境財団」の住宅診断を事前に受ける必要がある。「(公財)しまね自然と環境財団」と連携して周知を行い、制度利用者と普及率の増を目指す。						
委員会意見	【評価等に対する意見】							
	委員会 評価							

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 1-1 住民主体のまちづくりの推進 1-5 小さな拠点の形成							
	総合戦略 2-2 飯南町のファン拡大							
事業名	地域振興臨時管理費(加速化事業含む)	事業費	11,381千円(加速化事業3,000千円)					
事業概要 (計画P)	頓原複合施設に近接する温泉施設の廃業が決まり、これの運営を地域団体が引き継ぐこととなった。コミュニティビジネスの立上げにより住民による自立した運営を目指す。							
実施内容 (実施D)	ラムネ銀泉の運営初期実証経費を支援し、地域住民による自立した運営を図る。							
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:住民による温泉施設売上							
	KPI:31年度末に12,000千円/年							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	10,000	10,000	13,613			12,000	目標達成
	達成率		83.3%	113.4%				
平成28年度	評価 (C)	【28年度評価】						
		担当課 評価	平成28年7月から宇山振興組合に指定管理(指定管理料:380万円)し、地域住民により運営を開始した。平成29年3月末時点で、利用者数は14,379人、売上は13,613千円(物販含む)となっている。 経営面での自立はまだ難しいものの、地域住民の雇用の場として、周辺の観光団体との連携による観光客の拡大に寄与している。 ただし、施設や設備の老朽化が認められ、利用者の要望等により適宜修繕を行う必要がある。					
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】 指定管理者の運営状況や利用者の反響等を把握しつつ、自立に向けた対策を図っていく。 また、地域の雇用の場としての活用や地元農産物を積極的に販売していくを通じ、地元農家や町内企業等と連携し、地域の活性化につなげる。 施設修繕の優先順位を定めて、計画的に修繕を行うことで円滑な運営を図る。						
委員会意見	【評価等に対する意見】							
	委員会 評価							

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 1-1 住民主体のまちづくりの推進 1-5 小さな拠点の形成							
	総合戦略 2-2 飯南町のファン拡大 4-3 不便を感じない生活基盤の整備							
事業名	小さな拠点づくり推進事業(加速化事業含む)	事業費	12,199千円(加速化事業6,379千円)					
事業概要 (計画P)	買い物支援や金融機関、医療など日常生活に必要な機能を中心集落に集める「小さな拠点づくり」を推進する。公民館単位での住民主体の議論を促し、生活機能や交通確保、地域産業振興の3本柱の実現を目指す。							
実施内容 (実施D)	公民館区単位での地域住民の地域活性化対策事業を支援し、各地域の特性を活かした地域運営を推進する。							
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:地域づくり人材育成講座の受講生							
	KPI:31年度末に30名以上							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	—	80	40			30	目標達成
	達成率		266.7%	133.3%				
	②目標事項:小さな拠点形成数							
	KPI:31年度末に5か所							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
数値	—	0	2			5		
達成率	—	0%	40%					
平成28年度	評価 (C)	担当課 評価	小さな拠点づくり事業については、平成25年度から3年間、住みよい地域地域創造事業を公民館エリアで取り組んでいただき、平成28年度より住みよい地域実践事業と改称して継続的な取組を支援しているところである。これまで集まる機会に乏しかった地区等でも、つながり作りから取り組み始め、成果が現れつつある。一方で、小さな拠点づくりを公民館が担っている場合も見受けられたため、公民館エリア毎に集落支援員等を配置する必要性があると感じる。					
		B						
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】 平成29年度からは、5公民館エリア毎に集落支援員を配置し、小さな拠点づくり推進員等も任命して体制整備を行った。また、集落支援員及び島根県中山間地域研究センターと連携しながら「集落実態調査」を行っていくこととしている。更に、地域包括ケアシステムの推進も足並みを揃えて取り組むため、保健福祉課等との情報共有を密に行っていく。						
委員会意見	【評価等に対する意見】							
	委員会 評価							

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 1-1 住民主体のまちづくりの推進 1-5 小さな拠点の形成							
	総合戦略 4-3 不便を感じない生活基盤の整備							
事業名	買い物支援対策事業(加速化事業)					事業費	700千円	
事業概要 (計画P)	少子高齢化、人口減少に伴う商店等の閉店などにより、買い物弱者が増加傾向にある。移動が困難な高齢者の日常生活の利便性の向上、地域の見守り活動の支援を行い安心した生活環境を維持させる。							
実施内容 (実施D)	ローソンポプラ飯南店において行う移動販売に対し支援する。							
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:							
	KPI:							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値							
	達成率							
	②目標事項:							
	KPI:							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値							
	達成率							
平成28年度	評価 (C)	【28年度評価】						
		担当課 評価	27年度から引き続き、買い物に支援を要する方に対し、訪問販売及び地域の見守り活動を実施した。高齢化が進むなかで、重要な役割を果たしていると考え。					
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】						
		補助金交付が最終年の3年目となり、金額も前年度の700千円から500千円となる。補助額が少なくなるなかでも、巡回ルート・巡回時間等を精査することにより効果的な事業となることを期待したい。また、今年度から移動販売車両が2台体制(従来から使用している車両+新たにローソンから支給された車両)になるということで、台数が増えることによる効果も注目すべきところである。						
	委員会意見	【評価等に対する意見】						
委員会 評価								

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 2-2 保小中高が連携した学校教育の充実							
	総合戦略 4-2 田舎だからこそキラリと輝ける教育環境づくり							
事業名	飯南高校教育支援事業(加速化事業含む)	事業費	39,619千円(加速化事業3,000千円)					
事業概要(計画P)	地域外からの生徒の受入や体制づくりとともに、山村留学、生命地域学など飯南町の特性を活かしたカリキュラムづくりや、県内外の大学生や都市型企業、起業家などとの交流の場づくりなどによる魅力化を推進する。							
実施内容(実施D)	教育環境充実:教育活動支援(部活動、非常勤講師配置、特色ある教育)、通学支援(スクールバス運行、通学定期助成)、生徒確保広報(しまねUIターンフェア、しまね留学等、町内生徒の確保(学校説明会等)、保小中高一貫教育の充実(教員のTT、一貫教育講演会等) しまね留学では、海士町他8町村と連携し教育移住など学生募集等を実施。							
目標指標・進捗状況	①目標事項:飯南高校生徒数							
	KPI:180人以上を維持する							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	188	197	201			180	目標達成
	達成率		109.4%	111.7%				
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
数値	—							
達成率	—							
平成28年度	評価(C)	【28年度評価】						
		担当課評価	しまね留学として加速化交付金での連携事業により、全体でも成果が出ている。飯南高校でも28年度は78名(内県外12名)の入学となり全校生徒203名、基準日となるH29年3月31日現在では201名とKPIは達成。					
	改善(A)	【29年度における取り組みなど】						
29年度は適正人数60~65人(内県外生1割)を目標とした生徒確保広報。また、少人数習熟度別授業、個別指導等の充実により学力を向上、特色ある教育の推進により生徒の進学、就職率を向上させる。 また、加速化交付金事業に関しては単独事業であるICTを用いた遠隔交流を行う。								
委員会意見	委員会評価	【評価等に対する意見】						

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第3部会

基本施策	総合振興計画 3-3 観光の振興							
	総合戦略 2-1 地域魅力の発掘・発信							
事業名	ふるさと応援寄附促進事業					事業費	26,627千円	
事業概要 (計画P)	ふるさと納税制度による寄附者に対し、お礼の品として送る特産品や特典を通じて本町の魅力を発信する。							
実施内容 (実施D)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと応援寄附に協賛する事業者の発掘 ・お礼の品の追加とPR ・前年度寄附者への寄付金活用報告、リピーター対策 							
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:ふるさと納税件数							
	KPI:31年度末に12,000件							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	6,789	9,363	2,692			12,000	
	達成率		78.0%	22.4%				
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	—						
	達成率	—						
平成28年度	評価 (C)	【28年度評価】						
		担当課評価	好調のH27年度の勢いに乗り、寄附件数・金額の増加を図った。特にリピーター対策については、2年連続寄付者(平成26年度・平成27年度)の多くから寄附をいただいたことから一定の効果があったと考えられる(リピート率40%)。しかし、自治体競争(PR合戦・返礼率の上昇など)の様相を呈したため、寄附件数・寄附金額ともに伸び悩んだ。					
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】	飯南町は制度が始まった平成20年からふるさと納税をスタートし、年々、寄附件数・金額を増やしていったところである。H28年度も例年同様に、PRや返礼品の商品を増やすなどの取り組みをしたが、「例年通りの取り組み」では、ますます他の自治体との差がつく。平成28年度の状況から、PRをさらに強化する必要があると考え、今年度は、現在利用しているふるさと納税ポータルサイト(ふるさとチョイス)の契約ランクを変更し、また、新たにANAのふるさと納税に加入することによってPRのチャンスを増やし、寄附件数・寄附金額の増加を図る。					
委員会意見	【評価等に対する意見】							
	委員会評価							

※評価

- A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 5-1 定住の促進	
	総合戦略 2-2 飯南町のファン拡大	
事業名	三十路式事業	事業費 306千円
事業概要 (計画P)	Uターンを考える世代を対象とした交流会を開催し、Uターン者の拡大を図る。	
実施内容 (実施D)	昭和61年4月2日～昭和62年4月1日生まれの中学校卒業生及び町内在住者を対象に交流会の実施。対象者にて実行委員会を組織し、企画運営を行う。この企画運営に対して支援を行う。	
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:三十路式参加者率	
	KPI:毎年度60%以上の参加率	
		基準値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度(目標値) 備考
	数値	50.0 50.0 33.7 60.0
	達成率	83.3% 56.1%
		基準値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度(目標値) 備考
	数値	—
	達成率	—
平成28年度	評価 (C)	【28年度評価】
		担当課評価 C 当初、実行委員会の核となるメンバーが決まらず、発足が遅れた結果、例年のお盆開催から11月での開催となった。日程的に参加できない方もあり、全体の参加率が下がった。しかしながら、実行委員会の自発的な企画運営を通して、内容のよい式となった。
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】 核となるメンバーが早期に決定し、お盆での開催が既に確定しており、案内リスト作成も終わっている。実行委員会内の協議もスムーズに進んでいる。
委員会意見	【評価等に対する意見】	
	委員会評価	

※評価

- A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 5-1 定住の促進							
	総合戦略 2-3 定住の促進							
事業名	定住促進対策事業(加速化事業含む)	事業費			20,371千円			
事業概要 (計画P)	定住相談員の設置をし、定住支援センターの相談窓口機能の充実を図り、空き家バンク制度と連携した移住希望者と地域を結び定住者確保を行う。							
実施内容 (実施D)	定住支援員の設置、ホームページによる定住情報の発信、相談業務、住宅の確保、仕事の確保、就農支援のほか、定住後のフォローを行う。							
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:Uターン希望者の相談件数							
	KPI:31年度末に500件							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	333	247	412			500	
	達成率		49.4%	82.4%				
	②目標事項:Uターンの移住者数(定住支援制度を利用した方に限る)							
	KPI:31年度末に 年13人(H27-H31の平均値)							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	6.4	4	13			13	単年目標達成
	達成率	—	31%	100%				
	③目標事項:Iターンの移住者数(定住支援制度を利用した方に限る)							
	KPI:31年度末に 年40人(H27-H31の平均値)							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	28.6	36	40			40	単年目標達成
	達成率	—	90%	100%				
平成 28 年度	評価 (C)	【28年度評価】						
		担当課 評価	都市部での出張相談会における相談体制の充実、町外通勤助成金など制度の充実を図ることにより、相談件数は大幅に増加した。相談の増加に伴って、Uターン者数も過去最高となる53名を数え、目標とする数値に達している。					
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】						
		高い求人倍率を背景に、人材確保支援センターを設置し、就業相談に特化することで、より層の厚い相談体制を確保する。また、都市部での出張相談会を町内向けにもPRし、都市部におられるご家族などのUターンにもつなげたい。						
	委員会 意見	【評価等に対する意見】						
委員会 評価								

※評価

- A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 2-2 保小中高が連携した学校教育の充実							
	総合戦略 4-2 田舎だからこそキラリと輝ける教育環境づくり							
事業名	教育振興共通臨時管理費(加速化事業含む)	事業費	12,696千円(内加速化 4,379千円)					
事業概要 (計画P)	国際的に活躍できる人材育成を目指し、理科クラブやICT教育の充実を図り、子どもたちの主体的な学びによる確かな学力の育成、国際化・情報化社会を生き抜く豊かなコミュニケーション能力の育成を図る。							
実施内容 (実施D)	町内小中学校へのICT教材を整え、ICT支援員(委託)の配置や教科書改訂に伴う指導書及び教師用教材の購入を行う。							
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:飯南高校生徒数							
	KPI:180人以上を維持する							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	188	197	201			180	目標達成
	達成率		109.4%	111.7%				
平成28年度	評価 (C)	担当課 評価	平成28年度において、町内全ての小中学校にタブレット端末の1学年分の整備が完了した。2月に開催した「ふるさとシンポジウム」では、小学生から高校生までが集まり、それぞれが町に対する取り組みを話し合い、タブレット端末を活用して考えを発表した。主体的に取り組む姿勢や表現力向上においては、非常に効果が見られた。					
		B						
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】 平成29年度においては、ICT機器の更なる有効活用を進めるため、ICT支援員(外部委託)による各学校への支援を強化する。						
委員会意見	【評価等に対する意見】							
	委員会 評価							

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 4-1 健康づくりの推進	
	総合戦略 4-1 安心して長生きできる環境づくり	
事業名	保健衛生総務経常管理費	事業費 2,639千円
事業概要 (計画P)	地域での健康づくり活動の支援や過去の検診データ処理と分析を行うことで、人と人とのつながりを構築し、健康に関する地域診断を実施とともに検診受診率の増加を図る。	
実施内容 (実施D)	保健師の設置、受診データの処理と分析、検診未受診者への訪問と地域活動の支援を行う。各地区でのサロン等での健康教育の推進を行う。	
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:特定健診の受診率	
	KPI:31年度末に65%	
		基準値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度(目標値) 備考
	数値	45 48 56 65
	達成率	73.8% 86.2%
	②目標事項:健康寿命	
	KPI:31年度末に男性82.50年、女性86.19年(H27-H31の平均値)	
		基準値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度(目標値) 備考
数値	男81.77 女85.41 - 男82.50 女86.19 毎年度調査不可能	
達成率	- -	
平成28年度	評価 (C)	【28年度評価】
		担当課評価 A 近年、全国的に健康に対する関心は大きく、健診(検診)へのニーズは高まっている。平成28年度より、高受診率の地区を表彰する制度を設け、地域単位で健康への意識や機運の向上を図った結果、数値も向上した。今後も早期発見早期受診に繋げる取組みを継続して行ない、町民の健康と暮らしをサポートする。
	改善 (A)	【29年度における取組みなど】 今年度より、商工会においてスタートした「いーにゃんポイント」(ポイントが溜まると、500円の金券として加盟店で利用可能)を、健診受診者に付与しており、「健康チェックでポイントも溜まる」お得感を創出し、町民の健康意識や健診受信者の向上を図り、早期発見早期受診に繋げる取組みを行う。
委員会意見	【評価等に対する意見】	
	委員会評価	

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 4-2 地域医療の充実							
	総合戦略 4-1 安心して長生きできる環境づくり							
事業名	医療従事者確保対策事業	事業費 9,486千円						
事業概要 (計画P)	飯南病院又は町内の医療機関若しくは福祉施設の医療等関係従事者の確保及び充実を図ることを目的として、医療又は、福祉関係に従事する意思のある医学生等に対して助成する。 これにより飯南町の医療又は福祉環境の充実を図り、町民の福祉向上を図っていく。							
実施内容 (実施D)	医療及び福祉従事者確保対策助成制度により医師、看護師、介護福祉士、歯科衛生士を目指す学生の支援を行う。 また、町内に就職する医療及び福祉従事者に支度金を支給する。							
目標指標 ・進捗状況	①目標事項: 飯南病院・来島診療所の常勤医							
	KPI: H31年に8名							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	6	6	6			8	
	達成率		75.0%	75.0%				
	②目標事項: 訪問件数(訪問看護・訪問リハビリ)							
	KPI: H31年に8名31年度末に300件/年							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	230	209	233			300	
	達成率	—	69.7%	77.7%				
	③目標事項: 医療・福祉・介護職人材数							
	KPI: 31年度末に550人							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	525	507	505			550	
	達成率	—	92.2%	91.8%				
平成28年度	評価 (C)	【28年度評価】						
		担当課 評価	訪問看護の伸びについては、看護人材の確保によるところも大きく、学生支援制度を活用した就職が成果を上げている。 また、介護人材については、支度金制度の活用による就業もあるが、既在職者の離職も多く、人材確保するに至っていない現状がある。					
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】						
		医療・福祉・介護現場の現況や就業者のニーズ等を情報収集・分析し、実態に合った助成制度への見直しを検討していく。						
	委員会 意見	【評価等に対する意見】						
委員会 評価								

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 4-3 地域福祉の充実							
	総合戦略							
事業名	地域包括支援センター運営事業(人件費)					事業費	11,241千円	
事業概要 (計画P)	地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するため、介護予防事業のマネジメント、高齢者や家族に対する総合的な相談・支援、虐待の防止・早期発見等を行う。							
実施内容 (実施D)	保健福祉課・福祉事務所・飯南病院・各関係機関と連携し、地域包括ケアシステムの構築を図る。医療・介護の連携、生活支援体制整備、包括ケア会議、地域リハビリテーション事業を実施する。							
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:地域包括支援センターへの総合相談数							
	KPI:年300件							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	200	266	188			300	
	達成率		88.7%	62.7%				
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値							
	達成率							
平成28年度	評価 (C)	担当課 評価	総合相談の件数は減少しているが、複雑化する様々な相談について専門家の配置や各機関と連携を密にすることによりスピーディーな対応が可能となっている。平成28年度から飯南町長生き体操を実施している。身近な場所で、地域との関わりを大切に、かつ運動機能を維持していくこの体操教室は、かなり早いスピードで住民に受けていれていたが、介護予防対策の大きな柱となった。					
		A						
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】 引き続き住民が安心して暮らしていくための相談窓口として、「保健福祉センターへ相談にいけば、なんとかなる」という思いを持っていただけるように今後も丁寧な相談対応をしていく。また飯南町長生き体操が各地域で展開されているが、この事業が末永く継続していただけるような働きかけを今後考えていく。また運動に加え、口腔、栄養などの要素も含む事業の展開を検討していく。						
委員会意見	【評価等に対する意見】							
	委員会 評価							

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 4-4 高齢者などにやさしい環境づくり							
	総合戦略							
事業名	障がい者地域生活支援事業				事業費	24,376千円		
事業概要 (計画P)	障がい者に対し、協働して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な介護、援助及び相談等の日常生活の支援を行うとともに、短期間の入所に係る介護等の支援を行い、障がい者の福祉向上を図る。							
実施内容 (実施D)	障がい者が地域や社会で安心して暮らせることができる共同生活援助(GH)を設置する。 共同生活を行う住居の整備等を補助し、障がい者の地域移行を支援する。 ※補助基準額(改修:10,000千円、新築25,000千円)							
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:共同生活援助施設数							
	KPI:31年度末に3か所							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	2	2	2			3	
	達成率		66.7%	66.7%				
平成 28 年度	評価 (C)	担当課 評価	相談支援専門員等と相談し、本人やその家族の現状・希望に沿った地域生活支援事業(地域活動支援センター事業、日中一時支援事業、日常生活用具給付等)や障害福祉サービス(就労継続支援B型事業、居宅介護、生活介護等)の提供をしていることにより、在宅で過ごされる方が増えている。 現在の利用者においても、高齢化に伴う養護老人ホームへの移行や障がいの重度化による施設入所支援への移行等により、共同生活援助を利用している方が減少傾向にある。 現在、共同生活援助の潜在的ニーズは存在するが、利用にかかる一部負担金の負荷や、団体生活に対する不安等により共同生活援助の利用に繋がっていない。今後もこのような状況が続くようであれば、施設数が減少してしまう可能性も考えられる。					
		C						
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】 障害福祉計画作成におけるアンケート調査により、共同生活援助に対するニーズの把握を行う。保健師と連携し、利用に繋がっていないが利用された方が良いと思われる方の把握及び利用への斡旋を行う。 また、集団生活を不安に思い利用につなげていない方に対し、体験利用をしやすいするため、利用にかかる一部負担金を助成する制度を検討する。 共同生活援助施設の整備においても、暖房設置・手すりの設置・樋の修繕等を検討する。						
委員会 意見	【評価等に対する意見】							
	委員会 評価							

※評価

A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 3-1 飯南ブランドの構築							
	総合戦略 3-1 夢と希望の持てる飯南農業の実現							
事業名	園芸振興対策事業	事業費	5,336千円					
事業概要 (計画P)	○高原野菜、果樹生産拡大、栽培技術向上(果樹振興アドバイザー設置) ○販売戦略の構築(iまるシェの運営支援、地産地消システムの構築) ○循環型農業の推進(土壌分析に基づく土づくりの推進) ○冬季の農産物生産(園芸用ハウス暖房システム導入に係る支援)							
実施内容 (実施D)	園芸を振興するために必要な経常的経費の支援、生産団体への支援を実施 ・果樹振興アドバイザーの配置 ・飯南町交流物産館「iまるシェ」への集出荷業務委託 ・園芸用ハウス暖房システム導入への補助金							
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:産直事業の売上							
	KPI:31年度末に185,000千円/年以上(ぼたんの郷・ぶなの里・iまるシェ・JA)							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	145,000	148,000	145,000			185,000	
	達成率		80.0%	78.4%				
	②目標事項:道の駅・産直市の売上							
	KPI:31年度末に120,000千円/年以上(ぼたんの郷・ぶなの里・iまるシェ)							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	93,968	96,863	93,083			120,000	
	達成率	—	81%	78%				
平成 28 年度	評価 (C)	【28年度評価】						
		担当課 評価	・現場指導を行うため果樹振興アドバイザーを配置し、ブドウ栽培を中心に時期ごとの講習会を実施し、生産量の向上に繋がった。 ・産直市への支援として、iまるシェへの集出荷業務委託の支援を実施し、H29年度は集出荷日数の削減を行い運送の効率化を図った。また、定期的なイベント実施による集客や、店舗専属マネージャーを配置し生産者への出荷調整などを行ったが、販売額は停滞している。					
	B	・町内で実施された園芸用ハウス暖房システムの導入試験に対して補助金を交付し、暖房システムの有効性を探った結果、作物の生育への効果はあるが燃料コスト(製造費、運送費等)の軽減が課題であることがわかった。						
改善 (A)	【29年度における取り組みなど】							
	・栽培技術向上のための果樹振興アドバイザーを引き続き配置し、巡回や講習会を実施し、栽培技術向上に繋げる。 ・iまるシェについて、集客のための定期的なイベントに加え、商品の充実を目指し、生産者からの農産物買取や町内農産物を使用した新規加工品の販売等を実施し運営の改善を図る。 ・暖房システムについて、試験結果を分析し、燃料コスト低減や適正品目を検討していく。							
委員会 意見	【評価等に対する意見】							
	委員会 評価							

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 3-1 飯南ブランドの構築	
	総合戦略 3-1 夢と希望の持てる飯南農業の実現	
事業名	リースハウス団地整備事業	事業費 20,278千円
事業概要 (計画P)	施設等の初期投資を軽減し園芸の担い手を確保するため、また、飯南町振興作物の生産拡大をはかるため、飯南町にて園芸用ハウスを整備し貸付ける。	
実施内容 (実施D)	<p>【事業対象者】 認定農業者、認定就農者、農業生産法人</p> <p>【経費負担】 使用者の事業計画に応じた規模のハウスを予算の範囲内で整備し、ビニールハウスの整備にかかる標準事業費のうち1/3をハウス使用料として対象者が負担する。</p> <p>【使用条件】振興作物(トマト、メロン、パプリカのうちのいずれか)を作付し、その生産を基軸として健全な農業経営を営むこと</p>	
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:産直事業の売上	
	KPI:31年度末に185,000千円/年以上(ぼたんの郷・ぶなの里・いまるシェ・JA)	
		基準値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度(目標値) 備考
	数値	145,000 148,000 145,000 185,000
	達成率	80.0% 78.4%
	②目標事項:道の駅・産直市の売上	
	KPI:31年度末に120,000千円/年以上(ぼたんの郷・ぶなの里・いまるシェ)	
		基準値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度(目標値) 備考
数値	93,968 96,863 93,083 120,000	
達成率	— 81% 78%	
平成28年度	【28年度評価】	
	担当課評価	<p>【下赤名】 ミニトマト 12棟(35a) H27整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者1名 4棟(12a)、農業参入企業1社 8棟(23a) 4月から栽培開始 ・生産実績:6,341千円であり、トマトの生産額向上に繋がった。 <p>【角井】 トマト 5棟(20a) H28新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落営農法人が8月から使用開始。レタス等を栽培し、H29年4月からトマト栽培予定。 ・集落営農法人による園芸作物の生産が開始し、経営の多角化に繋がった。 ・将来的には就農者の研修や年間雇用を行い、担い手の定住を目指していく。
	B	(参考)振興作物(メロン・トマト・パプリカ)H28生産額:55,356千円(前年比124%) 特にトマトの生産額は前年比187%であり、リースハウス事業による生産面積拡大の効果があったと考えられる。
	改善(A)	【29年度における取り組みなど】 H29年度には、上赤名団地を整備予定(パプリカ 8棟(23a)、新規就農者1名が使用)。H30年度以降にも、新規就農者から要望が上がっており、担い手の定着、園芸作物の生産拡大に繋げるため継続して実施する。
委員会意見	【評価等に対する意見】	
	委員会評価	

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 3-1 飯南ブランドの構築							
	総合戦略 2-2 飯南ファンの拡大							
事業名	森林セラピー推進事業					事業費	7,239千円	
事業概要 (計画P)	森林セラピーを中心とした誘客活動により交流人口の拡大を図る。							
実施内容 (実施D)	<ul style="list-style-type: none"> ・飯南町観光協会へ森林セラピー推進業務を委託(ガイド手配、情報発信業務) ・ガイド育成(年5回開催) ・セラピーガイドによるセラピーロード整備 ・森林セラピーシンポジウムの開催 ・山陰癒しの森事業共同体(鳥取県智頭町と連携)による東京・大阪での情報発信・観光誘客 							
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:森林セラピー利用者数							
	KPI:31年度末に3,000人以上							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	2,110	981	976			3,000	
達成率		32.7%	32.5%					
平成28年度	評価 (C)	【28年度評価】						
		担当課 評価	28年度は、町外での活動として、山陰癒しの森(鳥取県智頭町との共同体)による「森林セラピーカフェ」を東京・大阪で開催し、森林セラピーをはじめ飯南町の観光情報発信を行った。 一方、町内での活動として、「森林セラピーシンポジウムinいいなん」を開催。本町の事例紹介や外部からの専門家による講演を通じて、参加者間で活発な議論が交わされた。また、本町で活躍する森林セラピストを講師とし、セラピーガイド育成講座を4回実施し、ガイドのレベルアップにも取り組んだ。 29年度は、町外向けプログラムについては引き続き飯南町観光協会へ委託する。あわせて、町役場としては、町民の健康増進と介護予防を目的とした町民向けプログラムの利用促進を重点的に取り組んでいく。 ○H28セラピーガイド派遣実績・・・44名(回)					
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】 ○町民を対象とした森林セラピー体験プログラムの実施(保健福祉課と協働) ・健康増進と介護予防のための森林セラピー体験プログラムを実施し、町民への森林セラピー普及啓発および利用促進を図る。 ○森林セラピーガイド育成講座の実施 ・森林セラピーガイドのスキルアップを図り、森林セラピー体験プログラムの質的向上を目指す。						
委員会意見	【評価等に対する意見】							
	委員会 評価							

※評価

- A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 3-3 観光の振興		
	総合戦略 3-2 観光関連産業の拡大		
事業名	飯南町情報発信事業(加速化事業含む)	事業費 3,250千円	
事業概要 (計画P)	イベント出展とインターネットによる情報発信により、飯南町ファンを獲得し、誘客又は特産品の売上拡大を図る。また、観光コーディネーターのネットワークによる実践的な取組みを通じて、飯南町への観光誘客を行う。		
実施内容 (実施D)	インターネットの活用、イベント出展による情報発信の実施		
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:入込観光客数		
	KPI:31年末に350,000人		
		基準値	27年度 28年度 29年度 30年度 31年度(目標値) 備考
	数値	293,007	305,086 366,413 280,996
	達成率	87.2%	104.7%
	②のべ宿泊者数		
	KPI:31年末に15,000人		
		基準値	27年度 28年度 29年度 30年度 31年度(目標値) 備考
	数値	9,843	11,886 11,764
	達成率	—	79% 78%
平成28年度	評価 (C)	【28年度評価】	
		<p>担当課評価</p> <p>飯南町公式ホームページ「さとやまにあ」、里山コミッションへの委託事業による特産品の販路拡大、雲南広域連合企画による情報発信イベントへの参加を中心に事業を実施した。公式HP「さとやまにあ」の充実による情報発信力の向上などは評価できる点であると考えられるが、平成28年クリスマス～年末年始にかけての、極端な雪不足によるスキー場の入場者減は、町の入り込み客数に大きな影響を与えた。観光コーディネーターとの関わりは、毎月1回FMちゅーピーでの情報発信を行うとともに、インバウンドの提案や旅行会社への商品提案を行っていただいた。</p> <p>ホームページ:212,104ビュー、フェイスブックフォロワー:984、インスタグラムフォロワー:407</p> <p>新聞掲載、テレビ放映等件数:57件、問い合わせもあり、誘客にもつながっている。</p>	
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】	
委員会意見	委員会 評価	【評価等に対する意見】	

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 3-3 観光の振興	
	総合戦略 3-2 観光関連産業の拡大	
事業名	観光協会運営事業(加速化事業含む)	事業費 40,130千円(内加速化20,800千円)
事業概要(計画P)	飯南町内の観光産業を拡大させるため、飯南町観光協会の運営支援を行い、旅行者の拡大を図る。	
実施内容(実施D)	インバウンド、旅行商品造成、情報発信、サイクリング推進、パンフレット作成などを行う。	
目標指標・進捗状況	①目標事項:入込観光客数	
	KPI:31年末に350,000人	
		基準値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度(目標値) 備考
	数値	293,007 305,086 366,413 350,000 旧調査
	達成率	87.2% 104.7% 280,996人
	②のべ宿泊者数	
	KPI:31年末に15,000人	
		基準値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度(目標値) 備考
	数値	9,843 11,886 11,764 15,000
	達成率	— 79% 78%
平成28年度	評価(C)	【28年度評価】
		担当課評価 B 飯南町観光協会の活動対し、補助金を交付した。平成28年度における飯南町観光協会の取り組みについては、「観光地としての基盤づくり」「町への誘客」「情報発信」「インバウンド」に特に力を入れて事業を実施された。年度中の実績としては、独自の旅行商品の造成20本による約250名の誘客、海外を含めた旅行会社への営業と担当者との関係構築により、台湾からのツアー14本、330名が飯南町にお越しいただき、しめ縄体験、スキー、りんご狩りを楽しんだ。
	改善(A)	【29年度における取り組みなど】 平成29年度も飯南町観光協会の活動に対する援助を行う。観光協会は、29年度に、インバウンドとサイクリング事業を拡大させ、町への誘客を促進することとしている。台湾に加え、香港、韓国、オーストラリアに対してもその道を探ることとしている。また、国・島根県・広島県が力を入れる「やまなみサイクリングロード」を活用したサイクルイベントを8月に実施することとしている。
委員会意見	【評価等に対する意見】	
	委員会評価	

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画 3-4 商工業の振興							
	総合戦略 3-3 「しごと」場の維持・創出							
事業名	創業支援事業(加速化事業含む)	事業費	16,308千円(内加速化12,796千円)					
事業概要 (計画P)	<p>新たな産業創出から雇用の拡大を図るため、操業前から操業後まで支援を行う。創業前には、ビジネスコンテストの実施及び市場調査、販路開拓のための調査事業を実施。創業後は、販路、需要拡大のために必要な機器類整備など雇用拡大につながる新たな取組みについて補助を行う。</p> <p>さらに、経営研修や土業等の代行サービス費等の補助を行い、町内における産業人材の育成を図る。</p>							
実施内容 (実施D)	<p>○創業前 ビジネスコンテストの実施 3件応募(1件採択)、小規模新商品開発支援事業 3件応募(2件採択)、ビジネスコンテストを經由し、操業された企業との相談支援の実施、イノベーションセミナーとして町内企業8社を対象に産業能率大学と連携。</p> <p>○創業後 販路需要拡大期:新産業創出支援事業(融資条件1/3を必須とし3件採択)、創業フォローアップ支援事業を実施</p>							
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:町内就業者数							
	KPI:31年度末に2,800人							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	2,768	2,692				2,800	国勢調査のため調査不可能
	達成率	(H22)						
	②新規創業企業従事者数							
	KPI:毎年5人以上 31年度末に累計25人以上							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
数値	23	2	5			25	累計数を記載	
達成率	—	8%	20%					
平成28年度	評価 (C)	担当課 評価	<p>ビジネスコンテストにおいては、金融機関や商工会、しまね産業振興財団等から創業前に必要な専門的なアドバイスや制度紹介などをいただき、創業者が事前に必要な知識等を習得できた。</p> <p>新産業創出支援事業(ハード事業)においては、事業費の1/3を金融機関の融資とする必須条件を加え、事業計画の実現性の高い事業が採択された。また、JA、合銀など、町内の金融機関からの借入も発生し、地域経済の循環に繋がった。</p>					
		B						
	改善 (A)	【28年度評価】						
		<p>【29年度における取り組みなど】</p> <p>総合戦略や総合振興計画に掲げる「仕事の維持、創出」を進めるため、以下のとおり事業を実施する。</p> <p>【しごとを創出】ビジネスコンテスト、若者創業支援助成金制度(新)</p> <p>【しごとの維持】新産業創出支援事業(ハード・ソフト)、経営・販路開拓アドバイザー派遣制度、中小企業制度融資保証料補助、小規模事業者経営改善資金利子補給助成など</p>						
委員会意見	【評価等に対する意見】							
	委員会 評価							

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

基本施策	総合振興計画							
	総合戦略 2-2 飯南町のファン拡大							
事業名	ヘルスケアビジネス推進事業(加速化事業)					事業費	3,300千円	
事業概要 (計画P)	飯南町ヘルスケアビジネス推進協議会の活動経費として、補助金を交付する。							
実施内容 (実施D)	加圧玄米や森林セラピーの普及活動、加圧玄米の効果検証、新商品試作を行う。							
目標指標 ・進捗状況	①目標事項:町内就業者数							
	KPI:31年度末に2,800人							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
	数値	2,768	2,692				2,800	国勢調査のため調査不可能
	達成率	(H22)						
	②新規創業企業従事者数							
	KPI:毎年5人以上 31年度末に累計25人以上							
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
数値	23	2	5			25	累計数を記載	
達成率	—	8%	20%					
平成28年度	評価 (C)	【28年度評価】						
		担当課 評価	平成29年3月にエリーゼと共同研究者(産技センター、島大医学部、同志社大学)による研究報告会が開催され、骨密度の増加、認知機能の低下抑制、やる気向上の効果がでてきていると発表された。今後は、町民の健康にどのように活かしていくか、さらには、いかに買っていただけるか、を重点的に取り組んでいく必要がある。					
	改善 (A)	【29年度における取り組みなど】						
加圧玄米エビデンス取得事業及び玄米モニター事業については、良い効果がでてきているため、島大との研究期間を延長し、継続する。 普及啓発事業については、研究事業で出ている効果をしっかりと町民に伝え、町内における認知向上を図る。								
委員会意見	【評価等に対する意見】							
	委員会 評価							

※評価

- A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する
- B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する
- C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する
- D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する
- E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する